

「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」を目指して

# スタディ・ホーム

～「令和4年度さいたま市学習状況調査」の結果より～

「令和4年度さいたま市学習状況調査」（令和5年1月11日・12日実施）の結果について

お知らせします。御家庭等において、子どもたちの日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい学習・生活習慣について話し合う際に、「学力向上ポートフォリオ(児童生徒版)」と併せて、本リーフレットをお役立てください。

児童生徒・保護者向けリーフレット（小学校版）



全国の調査結果

国立教育政策研究所

検索



さいたま市学習状況調査

さいたま市立教育研究所

検索

今、必要とされている学力やよりよい学習・生活習慣について、御家庭でできることは何かを考えていきましょう。

「令和4年度さいたま市学習状況調査」調査の概要・結果、本年度からの新たな取組について

<実施日>令和5年1月11日(水)・12日(木)

<対象> 小1から中3の全児童生徒

<内容> ①学力に関する調査

小3・4:国語、算数

小5・6、中1・2:国語、算数・数学、社会、理科

※中3については、「第3回さいたま市学力検査」をもって充てる。

②生活習慣等に関する調査

小1～中3 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容

**NEW**...学力に関する調査をCBTで実施 (Computer Based Testing)

- メリット①デジタルの優位性を生かした問題に取り組むことができる。
- メリット②解答後すぐに正答を確認できる。
- メリット③解答をデータで残せる。

現在、様々な調査がCBTで行われていることや、CBTの実施によるメリットを考え、本年度より、学力に関する調査もCBTで実施しました。

## 学力に関する調査

各教科の平均正答率(中3のみ平均点) (%)

学年	国語	算数・数学	理科	社会
小3	61.7	71.2	—	—
小4	70.5	62.0	—	—
小5	66.4	65.1	62.1	75.8
小6	68.9	66.7	67.8	77.2
中1	64.3	66.7	53.2	59.9
中2	73.9	55.6	58.4	65.0
中3	63.0	54.9	50.0	48.1

デジタルの優位性を生かした問題～QRコードから調査問題に取り組んでみましょう～(正答例は裏面に記載)

### 小学校5年生「理科」より抜粋

②(2)動画のような実験をしました。空気の入った試験管にスポンジでふたをし、試験管を湯につけるとスポンジが飛び出したのはなぜでしょう。

理由として最も適切なものを右の記号ア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

ア スポンジがあたためられて、スポンジの体積が大きくなったから。

イ 試験管の中の空気があたためられて、空気の体積が大きくなったから。

ウ ビーカーの中の水があたためられて、水の体積が大きくなったから。

エ ビーカーの中の水があたためられて、水じょう気がなったから。

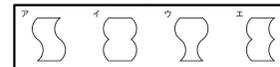


ポットからお湯を入れます。

### 小学校6年生「算数」より抜粋

⑧動画を見て、次の問題に答えましょう。動画の後に折り紙を広げると、どのような形になっていますか。

正しいものを、右の ア～エの中から1つ選びましょう。



0:23 / 0:50

今、必要とされている学力やよりよい学習・生活習慣について、ポートフォリオ(児童生徒版)を振り返ったり、生活習慣と学力の関係を考えたりすると、御家庭でできることのヒントを見付け出すことができます。



「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」を目指して

# スタディ・ホーム

～「令和4年度さいたま市学習状況調査」の結果より～

「令和4年度さいたま市学習状況調査」（令和5年1月11日・12日実施）の結果について

お知らせします。御家庭等において、子どもたちの日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい学習・生活習慣について話し合う際に、「学力向上ポートフォリオ(児童生徒版)」と併せて、本リーフレットをお役立てください。

児童生徒・保護者向けリーフレット（中学校版）



全国の調査結果

国立教育政策研究所

検索



さいたま市学習状況調査

さいたま市立教育研究所

検索

今、必要とされている学力やよりよい学習・生活習慣について、御家庭でできることは何かを考えていきましょう。

「令和4年度さいたま市学習状況調査」調査の概要・結果、本年度からの新たな取組について

<実施日>令和5年1月11日(水)・12日(木)

<対象> 小1から中3の全児童生徒

<内容> ①学力に関する調査

小3・4:国語、算数

小5・6、中1・2:国語、算数・数学、社会、理科

※中3については、「第3回さいたま市学力検査」をもって充てる。

②生活習慣等に関する調査

小1～中3 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容

**NEW**...学力に関する調査をCBTで実施 (Computer Based Testing)

メリット①デジタルの優位性を生かした問題に取り組むことができる。

メリット②解答後すぐに正答を確認できる。

メリット③解答をデータで残せる。

現在、様々な調査がCBTで行われていることや、CBTの実施によるメリットを考え、本年度より、学力に関する調査もCBTで実施しました。

## 学力に関する調査

各教科の平均正答率(中3のみ平均点) (%)

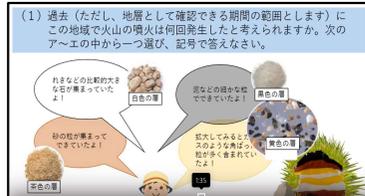
学年	国語	算数・数学	理科	社会
小3	61.7	71.2	—	—
小4	70.5	62.0	—	—
小5	66.4	65.1	62.1	75.8
小6	68.9	66.7	67.8	77.2
中1	64.3	66.7	53.2	59.9
中2	73.9	55.6	58.4	65.0
中3	63.0	54.9	50.0	48.1

デジタルの優位性を生かした問題～QRコードから調査問題に取り組んでみましょう～(正答例は裏面に記載)

### 中学校1年生「理科」より抜粋

③(1) 過去(ただし、地層として確認できる期間の範囲とします)にこの地域で火山の噴火は何回発生したと考えられますか。右のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 一度も発生していない。
- イ 1回発生した。
- ウ 2回発生した。
- エ 3回発生した。



### 中学校2年生「理科」より抜粋

②次の天気図をみて、各問いに答えなさい。なお、天気図中のLは低気圧、Hは高気圧を示します。  
(3) 気象衛星画像の動画を観て季節の移り変わりを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 春から夏
- イ 夏から秋
- ウ 秋から冬
- エ 冬から春



今、必要とされている学力やよりよい学習・生活習慣について、ポートフォリオ(児童生徒版)を振り返ったり、生活習慣と学力の関係を考えたりすると、御家庭でできることのヒントを見付け出すことができます。

# キーワードは「情報活用能力」と「よりよい学習・生活習慣の定着」

大切なことは、自分の学習・生活習慣を振り返り、改善できるようにしていくことです。

生活習慣と学力の関係から、どのようなことに気を付けて過ごしていけばよいのだろう。

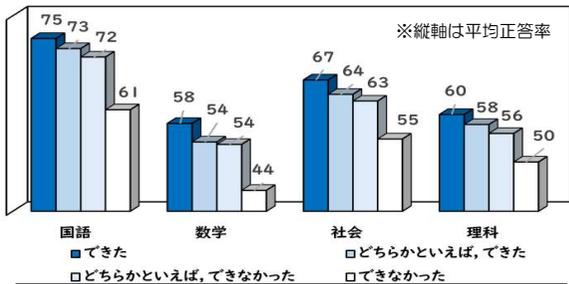
参考：文部科学省「端末利用に当たっての児童生徒の健康への配慮等に関する啓発リーフレット」⇒



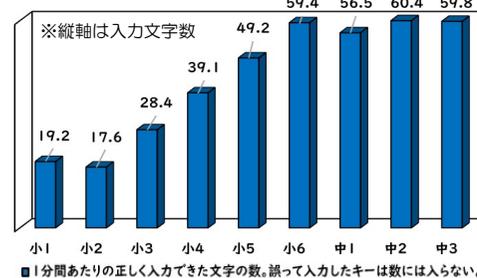
## 学習の基盤となる資質・能力「情報活用能力」とは

「学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報をわかりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる力」（情報手段の基本的な操作の習得、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する資質・能力等も含む）

コンピュータを活用して、学習内容の理解度や、興味・関心に合わせて学習することができましたか。

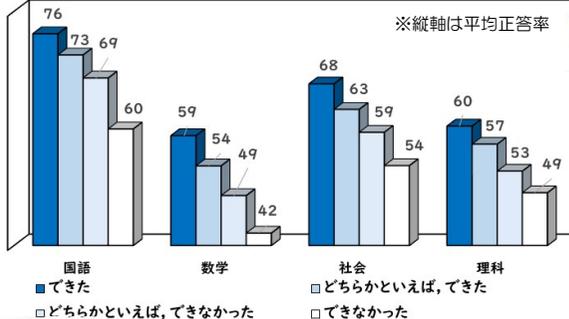


〈参考〉【学年別】1分間あたりの入力文字数 平均値  
第1回全国統一タイピングスキル調査 出典：株式会社教育ネット



基本的な操作である、「タイピングスキル」今のあなたはどのくらいのタイピングスキルでしょうか。

コンピュータを活用して情報を集めて整理したり、分析したり、まとめたりする学習することができましたか。



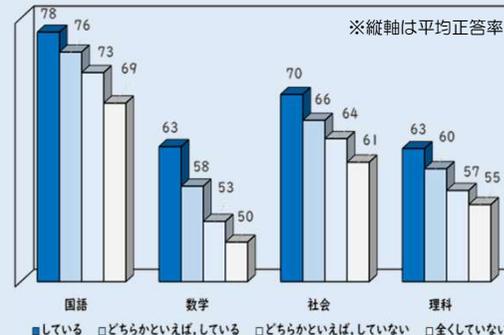
コンピュータを活用し、学習内容の理解度や興味・関心に合わせて学習することや情報を集め、整理・分析し、まとめる学習ができていると回答する生徒ほど、各教科での平均正答率が高い傾向にあります。この傾向は学力に関する調査の対象である全ての学年で見られました。

情報活用能力は学びを支える基盤です。 ※本ページデータは全て2年生の数値

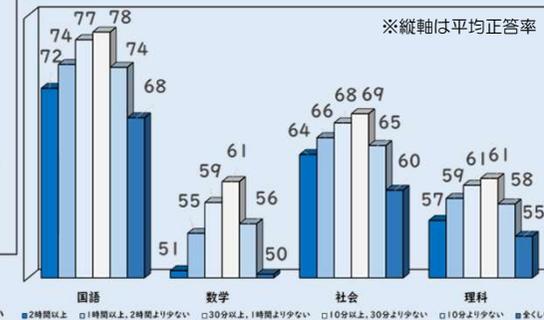
学習において、ICTを活用し情報を調べたり、調べた内容をまとめたり、発表したりすることは、今後、学習する上でとても必要な力となります。情報活用能力を学習の中でいつでも発揮できるようにしていきましょう。

## よりよい学習・生活習慣と学力（ここでは平均正答率）との関係

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



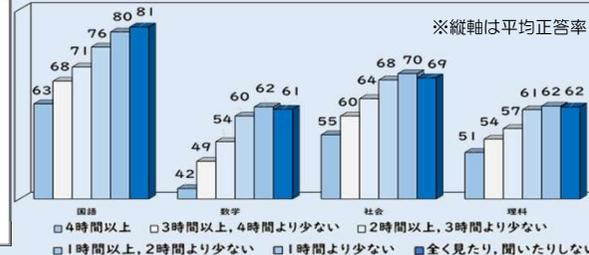
家や図書館で、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）



生活習慣等の質問を回答項目順に並べ、それぞれの回答内容の児童が各教科での位、得点が取れたかがグラフ化されています。（クロス集計と呼びます。）本リーフレットでは中学校2年生の数値を使用していますが、全ての学年において、同様の傾向が見られました。

家で計画を立てて勉強していると回答する生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られました。また、読書の時間やテレビゲームの時間と各教科の平均正答率には、緩やかな関係があります。本クロス集計を参考に、御家庭でのよりよい学習・生活習慣を考えてみませんか。

普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。）をしますか。



自分の学習・生活習慣を振り返り、よりよい習慣を身に付けていきましょう。

学校から配布されるポートフォリオ（児童生徒版）に生活習慣等の改善に向けた取組や、教科ごとの目標を記入しましょう。保護者の方は、お子さんの取組や目標に対して、励ましのコメントを記入してください。

# 「学習」や「生活習慣」をよりよくするヒントを考えることはできましたか？